

更新

事業者名	フェアトレードシティくまもと推進委員会
------	---------------------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

2023年、「くまもとSDGsアワード」牽引部門にて優秀賞を受賞した。フェアトレードはSDGs17の目標すべてに関係していることを広く伝え、フェアトレードシティ熊本市に住んでいると自覚し、行動する人を増やす。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	原料の生産から、輸出入、加工、製造全ての工程で、差別や児童労働の禁止、土壌・水源・生物多様性の保全等、国際フェアトレード基準が守られているフェアトレード商品の利用普及に努める。	2024年、セブンイレブン記念財団の助成を受け、熊本市と協働で「フェアトレードシティくまもとガイドマップ」を作成した。 ・フェアトレード取扱店数 2023年91か店→2026年182店
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	2025年、事務局を置くフェアトレード専門店ラブランドが「フェアトレード・ミニマ・ミュージアム」として再建する。フェアトレードシティくまもと推進委員会は、勉強会、ワークショップなどを企画し、フェアトレードの普及を行う。	・勉強会やワークショップの開催回数 2023年1回/月→2026年2回/月 フェアトレード体験者数 2023年250人→2026年500人
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	環境に配慮したリユースやアップサイクルのフェアトレード商品を紹介し、持続可能なライフスタイルを提案する。ギフト商品を個人、企業等に紹介する。	・フェアトレード商品注文件数 2023年30件→2026年100件

<パートナーシップ>

行政(熊本県、熊本市)、議会(熊本市議会)、県内外各地の学校、企業、市民団体、市民等と連携し、まちぐるみでフェアトレードを応援、実行する。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	原料の生産から、輸出入、加工、製造全ての工程で、差別や児童労働の禁止、土壌・水源・生物多様性の保全等、国際フェアトレード基準が守られている商品の利用普及に努めている。 →フェアトレード取扱店の目標は、現状把握に留まり、未達だった。	熊本市内のフェアトレード取扱店の一覧表を作り、そうして確認できた店舗数を2倍に増やす。(2019年98店舗→2023年200店舗) フェアトレードに関するミュージアム&ショップを開設する。	2024年、セブンイレブン記念財団の助成を受け、熊本市と協働で「フェアトレードシティくまもとガイドマップ」を作成した。現在91店(掲載不可を含む)のフェアトレード取扱店があることが分かった。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	様々なステークホルダーと連携してフェアトレード推進に取り組む。 →目標通りに達成できた。	月に一度、市内各地のお寺でフェアトレードをテーマとしたワークショップを行う。その他イベントにも積極的に参加する。	お寺だけでなく、JICA, YMCA, ユニセフなど様々な団体と共に、ワークショップやイベントを行った。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	海洋プラスチック削減に向けたバイオプラスチックを原料とするタンブラー及びアグロフォレストリーで栽培されたコーヒ等、生物多様性を守るための環境にやさしい商品の普及促進に取り組んでいる。 →タンブラーの普及目標は、熊本市の事業廃止に伴い、未達だった。	タンブラーを300人以上に普及させる。一人につき3回以上使ってもらうような機会を創出する。	タンブラーは約100人に普及させた。主催イベントを開催し、一人につき3回以上使ってもらえる機会を創出できた。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。